

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587045902	科目番号 / Subject code	05870459
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14311_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (世界の中のヨーロッパ、アジア、アフリカ) / European, Asian and African Regional Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori, 池田 幸恵 / ikeda Yukie, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 増田 研 / Masuda Ken, 見原 礼子 / Reiko Mihara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 増田 研 / Masuda Ken, 見原 礼子 / Reiko Mihara		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skomatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	総合教育研究棟11F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2915		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜4校時 (メールにてアポが必要。予定が合えば他の時間も対応可能)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	全員で具体的な事例を検討する作業を通して、「ヨーロッパ」、「アジア」、「アフリカ」の<社会・文化・人間>を、それぞれの地域に本質的に備わる固定的なアイデンティティ(同一性)としてとらえるのではなく、その環境(Umwelt=取り囲む世界)である域外の<社会・文化・人間>とのグローバルな相互作用の中で、絶えずゆらぎ、変化し続けるものとして理解する。		
授業到達目標 / Goal	ヨーロッパ、アジア、アフリカについての固定的なステレオタイプに対して批判的なまなざしを向け、グローバルな社会と文化の変容の中でこれらの地域について論じることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本は講義形式であるが、授業の展開に即して、グループワークや課題レポート作成を行うことになる。したがって、積極的な参加が必須となる。16回目に筆記試験を課す。		
授業内容 / Class outline / Con	1 イントロダクション: イメージの中の世界地図 (葉柳) 2 ヨーロッパ編(1): ドイツにおけるトルコ系住民 (葉柳) 3 ヨーロッパ編(2): グローバル化とEU(1)(見原) 4 ヨーロッパ編(3): グローバル化とEU(2)(見原) 5 ヨーロッパ編(4): オランダ・ベルギーにおけるトルコ系移民 (見原) 6 ヨーロッパ編(5): ヨーロッパのイスラームフォビア (見原) 7 ヨーロッパ編(6): 非EUヨーロッパ??スイス(葉柳) 8 アフリカ編(1): アフリカの「世界史」への参入(増田) 9 アフリカ編(2): 人種の社会的構築(増田) 10 アフリカ編(3): アフリカはいつまで貧困か(増田) 11 アフリカ編(4): 社会開発、とくに保健と学校教育(増田) 12 アジア編(1): アジアを考える視点(小松) 13 アジア編(2): アジアの開発課題(小松) 14 アジア編(3): 21世紀はアジアの世紀か? (小松) 15 まとめ: 本質主義を超えて (葉柳) 16 筆記試験		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習復習用資料はLACS上にアップする。		
キーワード / Key word	多言語・多文化国家、EUのトルコ系住民、グローバル化と地域、経済発展と貧困・格差、本質主義		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いず授業内容に関連した資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回の課題orレスポンスペーパー (45点)、筆記試験(55点)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	グループワークに参加する意志のある者		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	教養教育においては、知識を増やすことも重要ですが、思考の枠組を思い込みやステレオタイプから解放することの方がもっと大切です。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/23		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587046702	科目番号 / Subject code	05870467
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14351_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (宗教から見た日本) / Religion in Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa_nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の宗教文化は、その風土を反映し多様性と混合性に富む。この授業では、仏教やキリスト教と いったいわゆる「組織宗教」ではなく、神社の祭りや儀礼、民間信仰といった多様な信仰のかたち をとりあげ、「日本文化」と呼ばれるものを相対化しつつ日本社会の特質に迫る。また、以上の観 点を踏まえた上で、長崎の宗教民俗文化に対する理解を深める。		
授業到達目標/Goal	(1) 祭りや儀礼、民間信仰に関する宗教研究の基本的な概念について説明できるようになる。 (2) 長崎の民俗文化を含めた身近な社会現象を宗教研究の用語、考え方を用いて説明できるよう になる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各回の授業内容に示された特定のテーマを採り上げ講義形式の授業を行う。また、授業の終了時 には、講義内容に関するアンケートを実施する。その他、状況に応じて授業中の質疑討論を行う。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、日本の宗教文化を主題に、宗教研究の基本的な考え方を学び、それに基づき各回のト ピックに合わせた具体的な事例を考察する。 特に、宗教研究の概論では、われわれが漠然と理解している「宗教」や「日本文化」といったもの が、歴史的にどのように対象化されてきたのかということを理解し、その上で「宗教」に焦点を当 てること、「文化」や「社会」の見え方がどのように変わってくるかを学習する。 各回のトピックにもとづく各論では、生老病死など人間にとって身近な主題を、概論で学んだ宗教 研究の視座を通して分析する。それによって、現代日本社会の状況を相対化して捉える視座を養 う。 また、各回の授業では長崎の事例についても触れる。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	宗教、民間信仰、神話、儀礼、靈魂観、世界観、現代社会、長崎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加 (授業ごとのアンケート提出など) 50%、学期末レポート50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業の受講を通して、身近な世界を見つめなおすきっかけにいただければと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに?宗教とは何か?		
第2回	日本人と宗教		
第3回	民間信仰		
第4回	神話と時間		
第5回	儀礼と呪術		

第6回	自然と信仰
第7回	靈魂觀とコスモロジー
第8回	死者との関わり
第9回	シャマニズム
第10回	病氣と身体
第11回	高齢化と民間信仰
第12回	災害と民間信仰
第13回	福祉と宗教
第14回	現代社会と宗教
第15回	まとめ

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587046902	科目番号 / Subject code	05870469
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14361_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (日本のことばと文芸) / Japanese Language and Literature		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中島 貴奈 / Nakajima Takana, 小松 悟 / Satoru Komatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takanan (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部652		
担当教員TEL/Tel	必要があればお知らせします		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業中にお知らせします		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日常生活の中で使用している漢字について学び、漢字の調べ方を知ること。 漢文学(中国文学)が日本文学に与えた影響を具体例を通して知り、両者を比較して鑑賞できるようになること。 漢文を、日常生活にも即した身近な問題と関連づけて読むことができるようになること。 文学作品の鑑賞文を書き、他者に伝えることができるようになること。		
授業到達目標/Goal	日本の文化・文学などにおける中国からの影響を具体的に説明することができる。 文学作品を読んでさまざまな視点から鑑賞し、鑑賞文を書くことができる。 比較文学の手法を身につけ、作品を鑑賞できる。 漢文を身近な問題と結びつけて読むことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	毎回簡単な予習と課題の提出が必要です。 課題提出を通じて予備知識・問題意識をもった上で授業に出席し、授業配付資料や講義、受講生同士の意見交換を通して理解考察を深めます。		
授業内容/Class outline/Con	第1回・第2回 身近な漢字の疑問、漢字と日本?中国における文字の誕生と変遷 第3回・第4回 漢字と日本?日本への漢字の伝来と変遷(1)(2) 第5回・第6回 漢字と日本?さまざまな漢字の制限、漢字クイズをつくろう 第7回 日本文学と中国文学?万葉集の恋の歌 第8回 日本文学と中国文学?『源氏物語』桐壺と「長恨歌」(1) 第9回 日本文学と中国文学?『源氏物語』と「長恨歌」(2) 第10回 日本文学と中国文学?江戸小説と中国文学 第11回 日本文学と中国文学?翻案小説に挑戦しよう 第12回 日本文学と中国文学?近代文学と中国文学 第13回 日本文学と中国文学?比較して日本を再考する(1) 第14回 日本文学と中国文学?比較して日本を再考する(2) 第15回 日本の漢詩、長崎の漢詩		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回課題を出します。課題についての指示等は、授業時およびLacsにて行います。		
キーワード/Key word	漢字、漢詩、漢文、日中比較文学、長崎学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高島俊男『漢字と日本人』(文春新書) 大島正二『漢字伝来』(岩波新書) 阿辻哲次『戦後日本漢字史』(新潮選書) 阿辻哲次『漢字と日本人のくらし』(大修館書店) 村上哲見『漢詩と日本人』(講談社選書メチエ) 若林力『江戸川柳で愉しむ中国の故事』(大修館書店) 加藤徹『漢文力』(中公新書)その他授業中に紹介します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の課題に対する準備内容(30%) 授業時の討議への参加態度・発表内容(40%) 小レポートの内容(30%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	古典文学について書かれた日本語の文献をよみ、内容が理解できること。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	日本人学生はもちろん、留学生の受講も歓迎しますが、古典文学を含む多くの文献を読んでもらうこととなります。 授業の課題等はすべてLacsを通じて提出してもらいますので、こまめにチェックをお願いします。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 身近な漢字の疑問
第2回	漢字と日本?中国における文字の誕生と変遷
第3回	漢字と日本?漢字の日本への伝来と変遷(1)
第4回	漢字と日本?漢字の日本への伝来と変遷(2)
第5回	漢字と日本?漢字のさまざまな制限
第6回	漢字と日本?漢字クイズをつくろう
第7回	日本文学と中国文学?万葉集の恋の歌
第8回	日本文学と中国文学?『源氏物語』と長恨歌(1)
第9回	日本文学と中国文学?『源氏物語』と長恨歌(2)
第10回	日本文学と中国文学?江戸小説と中国文学
第11回	日本文学と中国文学?挑戦! 翻案小説
第12回	日本文学と中国文学?近代小説と中国文学
第13回	日本文学と中国文学?比較して日本を再考する(1)
第14回	日本文学と中国文学?比較して日本を再考する(2)
第15回	日本の漢詩、長崎の漢詩
第16回	予備